

2023年6月15日

西日本鉄道株式会社
西鉄バス北九州株式会社
西鉄バス二日市株式会社
西鉄バス宗像株式会社
北九西鉄タクシー株式会社

路線バス(乗合バス)の上限運賃改定の申請について

2023年6月15日、西日本鉄道株式会社および西鉄バスグループである西鉄バス北九州株式会社・西鉄バス二日市株式会社・西鉄バス宗像株式会社・北九西鉄タクシー株式会社は、国土交通省に乗合バス運賃の上限運賃改定認可申請を行いました。

申請理由および申請概要等は以下のとおりです。日頃よりご利用のお客さまにおかれましては、何卒事情をご賢察のうえ、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

1. 申請理由

西鉄バスグループでは、輸送の安全を最優先に掲げ、さまざまな施策の実施による収入確保や、アイドリングストップによる燃料費の節減をはじめとする徹底的な経費削減を図りながら、1998年8月1日実施の運賃改定*以来約25年間、運賃を変更することなくバス事業を継続してまいりました。

しかしながら、少子高齢化やマイカー等との競合に加え、新型コロナウイルス感染拡大によるテレワークの浸透など、「新しい生活様式」への移行に伴う移動需要の縮小も打撃となり、2022年度のバス利用者数は新型コロナウイルス感染拡大前の2019年度と比較して約2割減少しており、バス事業の維持に必要な収入の確保も厳しい状況が続いております。

一方、バス事業の運営に係る費用は年々増加傾向にあります。慢性的な運転士不足を踏まえた人財確保のための待遇改善に加え、安全投資や環境投資、燃料費の高止まり等、コスト増の要因は山積し、グループ全体のバス事業は2020年度以降、営業赤字が続くなど、安定的かつ持続可能な公共交通ネットワークを提供し、地域の足を守るというバス事業者の使命は揺らぎかねない状況です。

西鉄バスグループとしては、こうした環境下における事業運営の改善を図るとともに、将来にわたってバス事業の安全・安定的な継続を図るべく、今般、上限運賃の改定を申請いたしました。

※ 2014年・2019年の消費税率引き上げに伴う改定を除きます。

* 主に大分エリアで事業を営む亀の井バス株式会社においても、本日、大分運輸支局に乗合バス運賃の上限運賃改定認可申請を行っております。申請内容の詳細は、亀の井バス株式会社発行のプレスリリースをご確認ください。

2. 西日本鉄道株式会社の申請概要

- (1) 申請日 2023年6月15日
- (2) 実施予定日 2024年1月(認可後に改めてお知らせいたします)
- (3) 申請対象路線 当社が運行する一般乗合バス路線(一部区間を除く)
- (4) 上限運賃^{※1}の平均改定率 19.88%

実施運賃^{※2}は上限運賃より低額とする予定です。

(実際の平均改定率は12%程度の予定)

※1 上限運賃・・・事業経営に必要な原価に応じて算出され、バス事業者が収受できる運賃の上限額

※2 実施運賃・・・上限運賃の範囲内で、実際にお客さまから収受する運賃額

(5) 運賃比較表

	現行運賃	上限運賃	実施運賃(予定)
対キロ区間制(初乗運賃)	170円	220円	210円
特殊区間制(福岡市内1区) ^{※3}	190円	220円	210円
特殊区間制(福岡市内2区) ^{※3}	240円	280円	260円
150円区間 ^{※4}	150円	220円	150円
特殊区間制(福岡市内1区) 定期券(通勤一ヵ月)	8,550円	9,900円	9,450円

※3 特殊区間制は、乗車した区間数に応じて運賃額を算出する制定形態で、福岡都心部に適用しております。適用範囲は【参考①】をご参照ください。

※4 150円区間は、天神～博多駅間の都心エリアと、主要駅(薬院・平尾・高宮・大橋・春日原・下大利・朝倉街道・藤崎)から約1kmのバス停間で設定しております。当区間の実施運賃は改定せず、引き続き割引運賃を適用する予定です。

(6) 主要区間の運賃

区間	片道運賃		定期旅客運賃 ^{※6} (通勤一ヵ月)	
	現行運賃	実施運賃(予定)	現行運賃	実施運賃(予定)
天神～博多駅 ^{※5}	150円	150円	8,550円	9,450円
天神～県庁前	190円	210円	8,550円	9,450円
天神～西新	240円	260円	10,800円	11,700円
天神～島廻橋	300円	340円	13,500円	15,300円
天神～香椎	380円	430円	17,100円	19,350円
天神～四箇田団地	470円	530円	21,150円	23,850円
天神～上宇美	530円	590円	23,850円	26,100円
博多駅～ららぽーと福岡	220円	240円	9,900円	10,800円
博多駅～イオンモール福岡	330円	370円	14,850円	16,650円
博多駅～油山	450円	510円	20,250円	22,950円

※5 天神～博多駅間の片道運賃は割引運賃を適用しており、定期旅客運賃は210円を基準運賃とした金額です。

※6 定期旅客運賃については、基準運賃をもとに算出しております。ただし、割引率の変更は行わない予定です。

なお、西鉄バスグループでは、上限運賃改定の申請を実施する会社と実施しない会社がございます。

実施の有無については【参考②】を、実施するグループ会社の申請概要は【別紙】をご確認ください。

3. 輸送人員および収支状況

		輸送人員	収支状況
2019 年度		182 百万人	15 百万円
2024 年度(見込み) ^{※7}	運賃改定前	146 百万人	△4,838 百万円
	運賃改定後	142 百万人	△1,109 百万円

※7 2024 年度(見込み)は、上限運賃改定にあたっての推計値です。

4. これまでの経営合理化状況および今後の取り組み

不採算路線の再編をはじめとした経営合理化施策を実施してまいりました。

- ・不採算路線の再編
- ・nimoca 乗車ポイントサービスの廃止
- ・車両代替期間延長による償却費削減
- ・アイドリングストップによる燃料費節減 など

今後も、生活様式の変化に対応した運行ダイヤの効率化や、ICT 技術を活用した業務効率化など、経営合理化に資する取り組みを進めてまいります。

5. 安全対策への取り組み

経費の徹底的な削減を行いながらも、バス事業の最大の使命である「安全」に対して、最新技術も導入しながら、さらなる対策を実施しております。

【ソフト面】

- ・発車前安全確認「3 秒ルール」の徹底など基本操作の遵守
- ・ドライブレコーダーを活用した、個人の運転特性に応じた安全指導
- ・ハザードマップを活用した災害への備え強化
- ・西鉄バス研修センターにおける定期的なバス運転士への安全教育
- ・バスジャック対策訓練
- ・バス横転時の脱出訓練 など

【ハード面】

- ・新型ドライブレコーダーの導入
- ・ドライバー異常時対応システム(EDSS)搭載車両の拡大 など

今後も、日常的な乗務員指導・教育を積極的かつ継続的に行うことで安全体質の底上げを図るとともに、最新技術を搭載した車両への更新をはじめとした安全投資も引き続き実施してまいります。

6. サービス向上に向けた取り組み

利用特性に応じ、割引率の高い魅力ある商品を販売してきたほか、ICT 技術を活用しさまざまなサービスの提供に努めてまいりました。

【商品】

- ・高齢者向け乗り放題定期券「グランドパス 65」
- ・学生向け乗り放題定期券「エコルカード」
- ・時間帯限定乗り放題定期券「ひるパス」
- ・福岡市内 1 日フリー乗車券 など

【サービス】

- ・乗継割引制度の導入 ・行先方向幕の LED 化
- ・液晶運賃モニターの導入 ・バスロケーションシステム「にしてつバスナビ」の導入
- ・交通系 IC カード「nimoca」の導入
- ・高速バス路線を中心としたデジタル乗車券販売の拡充
- ・スマートフォン向けサービス「my route」を活用したシームレスなモビリティサービスの提供
- ・AI 活用型オンデマンドバス「のるーと」の導入
- ・こども 50 円バスの実施 など

今後も、MaaS の取り組みとして、他社とも連携しながらサービスの向上を図るとともに、持続可能な公共交通ネットワークを構築してまいります。さらに、高齢者向けのサービス向上施策を検討してまいります。

7. 社会的課題への対応

社会的課題の解決のため、さまざまな取り組みを実施してまいりました。

【社会的課題】

- ・地球温暖化
- ・バス業界全体での深刻な運転士不足 など

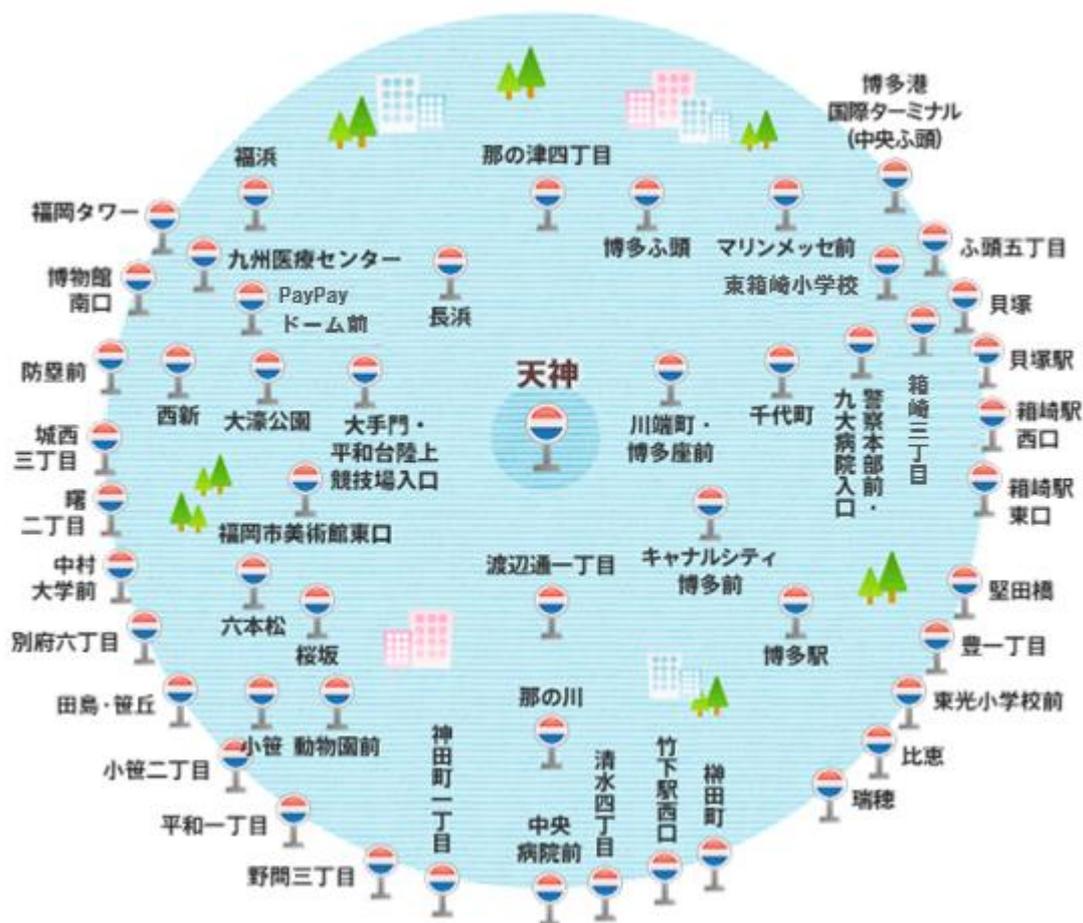
【課題解決への新たな取り組み】

- ・運営体制や運行計画の抜本的な見直しによる効率化
- ・アイドリングストップの励行
- ・連節バスの導入
- ・環境負荷低減 EV バス(電気バス)の導入
- ・自動運転バスの導入に向けた社会実験 など

今後も、カーボンニュートラルに向けた EV バスの導入推進や、運転士不足に対応するための人財戦略をはじめとする運営体制や運行計画などの抜本的な見直しに取り組んでまいります。

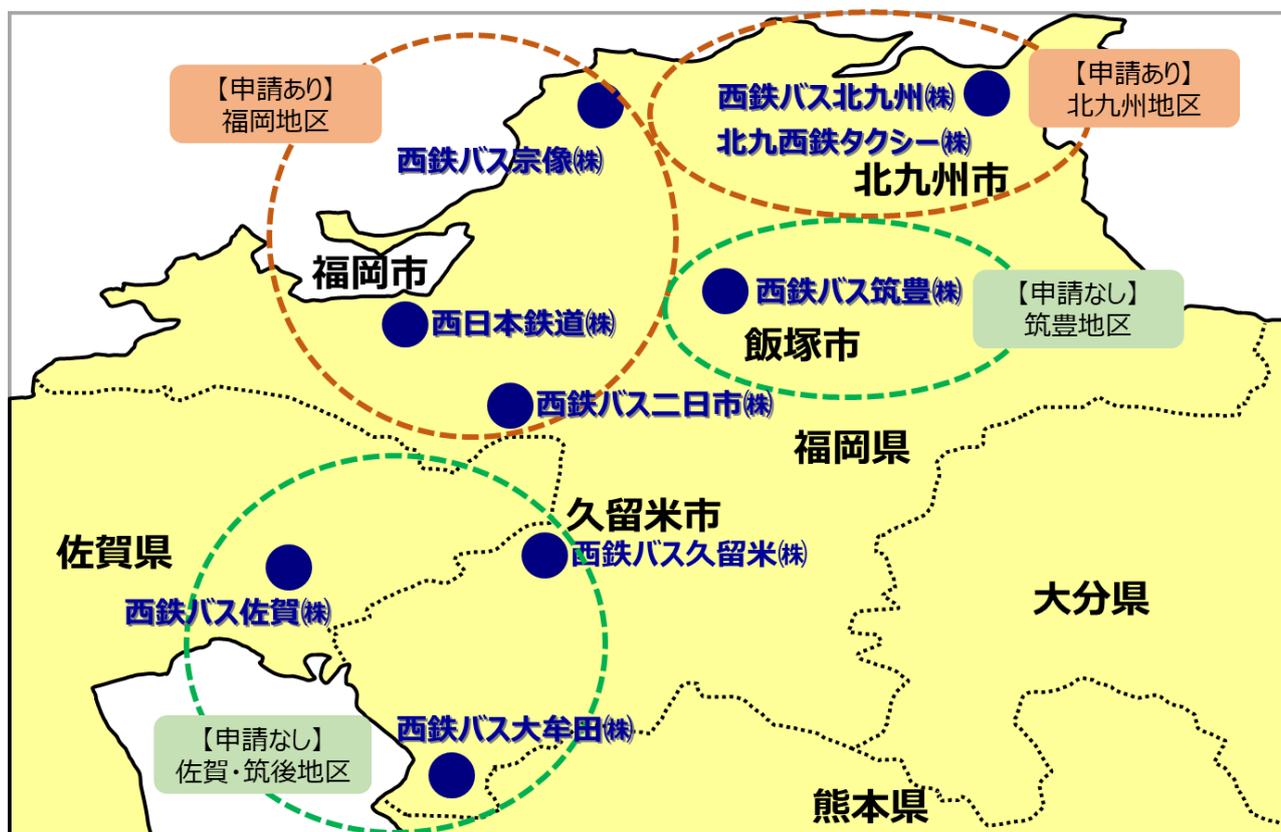
本件に関するお問い合わせは、西鉄お客さまセンター(Tel:0570-00-1010)まで

【参考①】特殊区間エリア



特殊区間制は、1 区の区間距離を概ね 2 キロ以上となるように区界停留所を定め、区間内を複数の区界に分け、その区数によって運賃を定める制度です。運賃計算方法は、1 区の運賃を定め、そのあと 1 区増える毎に固定額を加算します。当社で福岡都心部に適用しており、3 区間を超える場合も 2 区以上は 2 区として運賃設定を行っています。

【参考②】 主に福岡県・佐賀県を事業エリアとして路線バスを運行しているグループ会社の運賃改定申請の実施有無



【別紙】

1. 西鉄バス北九州株式会社

(1) 申請概要

- ① 申請日 2023年6月15日(木)
- ② 実施予定日 2024年1月(認可後に改めてお知らせいたします)
- ③ 申請対象路線 当社が運行する一般乗合バス路線(一部区間を除く)
- ④ 上限運賃の平均改定率 21.20%
※なお、実施運賃に関しては、多くの区間で上限運賃より低額な実施運賃とする予定です。(実際の平均改定率は16%程度の予定)

⑤ 現行・申請運賃比較表

	現行運賃	申請上限運賃	実施運賃(予定)
対キロ区間制(初乗運賃)	170円	220円	210円
特殊区間制(北九州市内半区)※1	200円	240円	230円
特殊区間制(北九州市内1区)※1	230円	280円	270円
駅から150円区間※2	150円	240円	180円
特殊区間制(北九州市内1区)定期券(通勤一ヵ月)	10,350円	12,600円	12,150円

※1 特殊区間制は、北九州市内(一部除く)で適用している運賃制度です。

※2 駅から150円区間は、小倉駅・黒崎駅・折尾駅から約1km圏内のバス停間で設定しております。当区間の実施運賃は改定いたしますが、引き続き割引運賃を適用する予定です。

⑥ 主要区間の運賃

区間	片道運賃		定期旅客運賃※4(通勤一ヵ月)	
	現行運賃	実施運賃(予定)	現行運賃	実施運賃(予定)
小倉駅～砂津※3	150円	180円	9,000円	10,350円
小倉駅～三萩野	200円	230円	9,000円	10,350円
小倉駅～下到津	230円	270円	10,350円	12,150円
小倉駅～北方	260円	300円	11,700円	13,500円
小倉駅～門司駅	300円	340円	13,500円	15,300円

※3 小倉駅～砂津間の片道運賃は割引運賃を適用しており、定期旅客運賃は230円を基準運賃とした金額です。

※4 定期旅客運賃については、基準運賃をもとに算出しております。ただし、割引率の変更は行わない予定です。

(2) 輸送人員および収支状況

		輸送人員	収支状況
2019年度		54百万人	101百万円
2024年度(見込み)※5	運賃改定前	41百万人	△1,278百万円
	運賃改定後	40百万人	△201百万円

※5 2024年度(見込み)は、上限運賃改定にあたっての推計値です。

2. 西鉄バス二日市株式会社

(1) 申請概要

- ① 申請日 2023年6月15日(木)
- ② 実施予定日 2024年1月(認可後に改めてお知らせいたします)
- ③ 申請対象路線 当社が運行する一般乗合バス路線(一部区間を除く)
- ④ 上限運賃の平均改定率 28.96%
- ※なお、実施運賃に関しては、多くの区間で上限運賃より低額な実施運賃とする予定です。(実際の平均改定率は12%程度の予定)

⑤ 現行・申請運賃比較表

	現行運賃	申請上限運賃	実施運賃(予定)
対キロ区間制(初乗運賃)	160円	220円	210円
初乗り区間 定期券 (通勤一か月)	7,200円	9,900円	9,450円

⑥ 主要区間の運賃

区間	片道運賃		定期旅客運賃 ^{※1} (通勤一か月)	
	現行運賃	実施運賃 (予定)	現行運賃	実施運賃 (予定)
西鉄二日市～イオンモール筑紫野	220円	240円	9,900円	10,800円
下大利駅～月の浦三丁目	320円	360円	14,400円	16,200円
宇美営業所～太宰府	400円	450円	18,000円	20,250円

※1 定期旅客運賃については、基準運賃をもとに算出しております。ただし、割引率の変更は行わない予定です。

(2) 輸送人員および収支状況

		輸送人員	収支状況
2019年度		2.0百万人	△36百万円
2024年度(見込み) ^{※2}	運賃改定前	3.1百万人	△196百万円
	運賃改定後	2.9百万人	△100百万円

※2 2024年度(見込み)は、上限運賃改定にあたっての推計値です。

3. 西鉄バス宗像株式会社

(1) 申請概要

- ① 申請日 2023年6月15日(木)
- ② 実施予定日 2024年1月(認可後に改めてお知らせいたします)
- ③ 申請対象路線 当社が運行する一般乗合バス路線(一部区間を除く)
- ④ 上限運賃の平均改定率 29.01%
- ※なお、実施運賃に関しては、多くの区間で上限運賃より低額な実施運賃とする予定です。(実際の平均改定率は13%程度の予定)

⑤ 現行・申請運賃比較表

	現行運賃	申請上限運賃	実施運賃(予定)
対キロ区間制(初乗運賃)	160円	220円	210円
初乗り区間 定期券 (通勤一か月)	7,200円	9,900円	9,450円

⑥ 主要区間の運賃

区間	片道運賃		定期旅客運賃 ^{※1} (通勤一か月)	
	現行運賃	実施運賃 (予定)	現行運賃	実施運賃 (予定)
東郷駅前～宗像大社前	240円	260円	10,800円	11,700円
福間駅前～塩浜口	310円	340円	13,950円	15,300円
福間駅前～神湊波止場	490円	550円	22,050円	24,750円

※1 定期旅客運賃については、基準運賃をもとに算出しております。ただし、割引率の変更は行わない予定です。

(2) 輸送人員および収支状況

		輸送人員	収支状況
2019年度		1.1百万人	△33百万円
2024年度(見込み) ^{※2}	運賃改定前	1.3百万人	△109百万円
	運賃改定後	1.3百万人	△58百万円

※2 2024年度(見込み)は、上限運賃改定にあたっての推計値です。

4. 北九西鉄タクシー株式会社

(1) 申請概要

- ① 申請日 2023年6月15日(木)
- ② 実施予定日 2024年1月(認可後に改めてお知らせいたします)
- ③ 申請対象路線 当社が運行する一般乗合バス路線
- ④ 上限運賃の平均改定率 20.44%
- ※なお、実施運賃に関しては、多くの区間で上限運賃より低額な実施運賃とする予定です。(実際の平均改定率は16%程度の予定)

⑤ 現行・申請運賃比較表

	現行運賃	申請上限運賃	実施運賃(予定)
特殊区間制(北九州市内半区)※1	200円	240円	230円
特殊区間制(北九州市内1区)※1	230円	280円	270円

※1 特殊区間制は、北九州市内(一部除く)で適用している運賃制度です。

⑥ 主要区間の運賃

区間	片道運賃		定期旅客運賃※2(通勤一ヵ月)	
	現行運賃	実施運賃(予定)	現行運賃	実施運賃(予定)
戸畑駅～戸畑区役所	200円	230円	9,000円	10,350円
七条～八幡東NT第一	230円	270円	10,350円	12,150円

※2 定期旅客運賃については、基準運賃をもとに算出しております。ただし、割引率の変更は行わない予定です。

(2) 輸送人員および収支状況

		輸送人員	収支状況
2019年度		0.5百万人	△18百万円
2024年度(見込み)※3	運賃改定前	0.1百万人	△25百万円
	運賃改定後	0.1百万人	△20百万円

※3 2024年度(見込み)は、上限運賃改定にあたっての推計値です。

まちに、夢を描こう。



路線バス上限運賃改定認可申請について

西鉄バスグループ

2023年6月15日

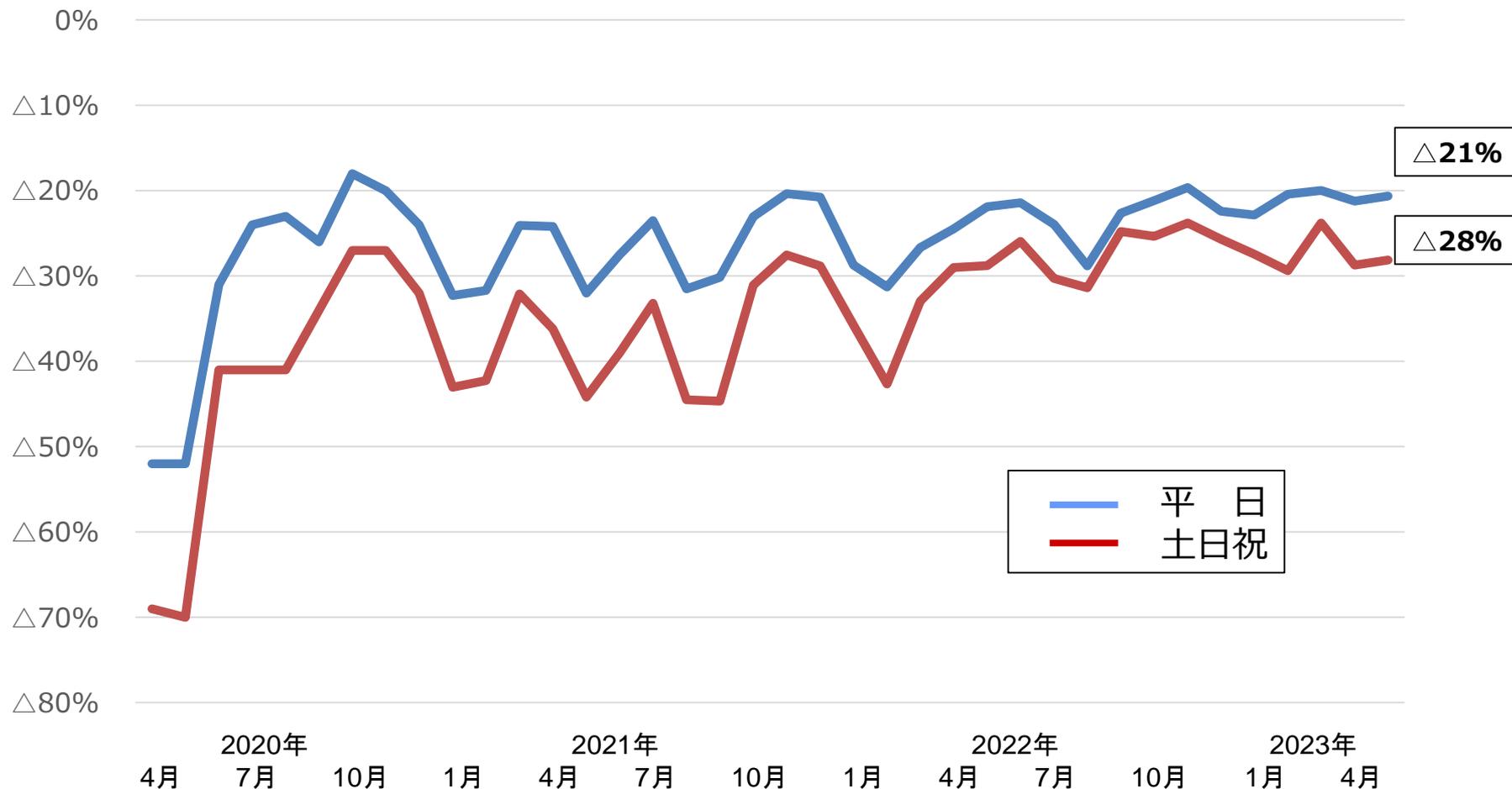


バス利用者数の推移

まちに、夢を描こう。

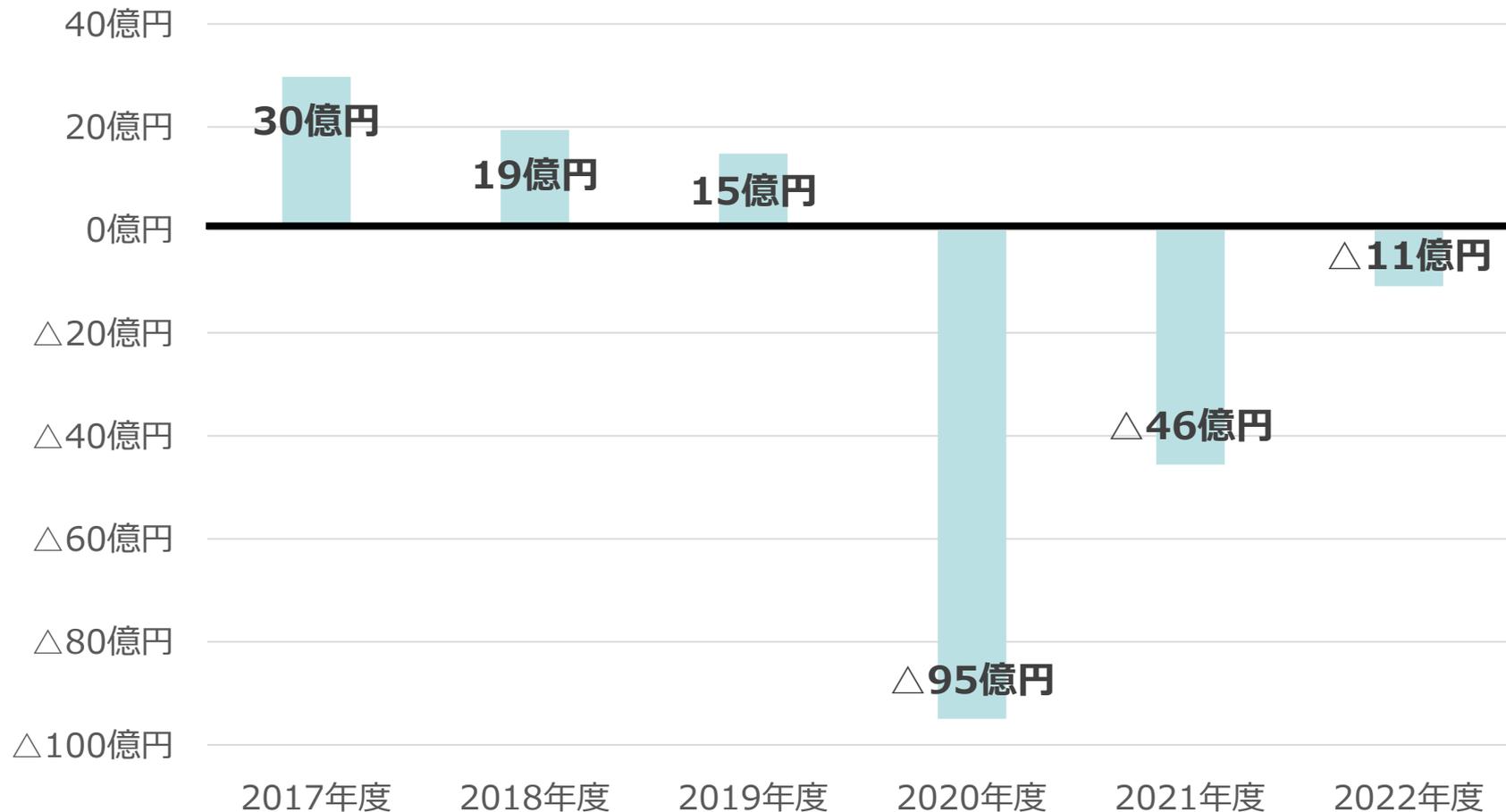


【西鉄バスグループの乗合バス利用者数(2019年度比)】



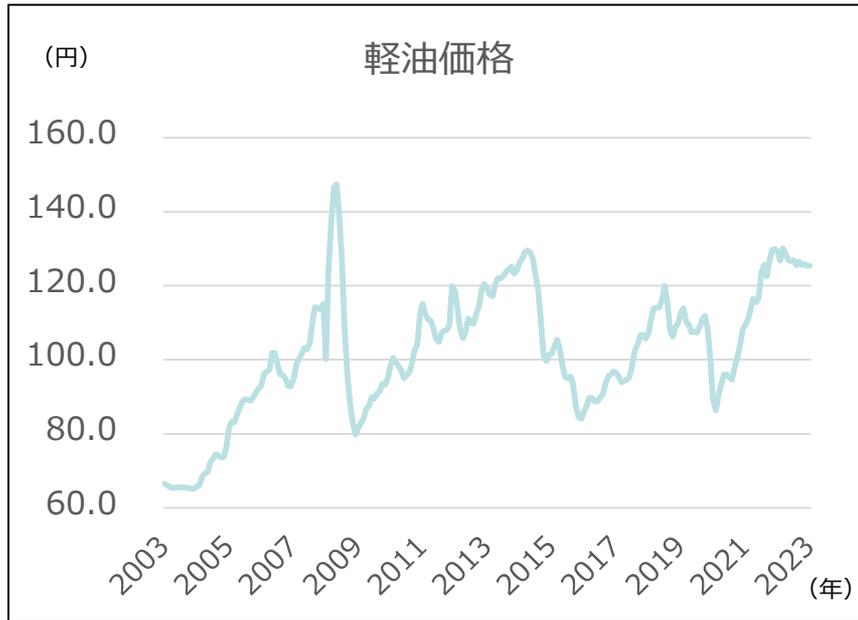
⇒ 「新しい生活様式」が定着し、利用状況の回復は頭打ちとなっている。

【バス事業(グループ全社計)の営業利益】



⇒2020年度以降営業赤字が続き、今後もバス事業の維持に必要な収益確保が困難。

【燃料(軽油)価格の動向】



※出典：資源エネルギー庁 石油製品価格調査より
軽油 産業用価格

【車両部品などの高騰】

部品	値上げ率
タイヤ	12%
バッテリー	15%
オイル類	20%
ホース・ベルト類	10%

※弊社支払実績 (2022.10.1価格改定 普通大型車両ベース)

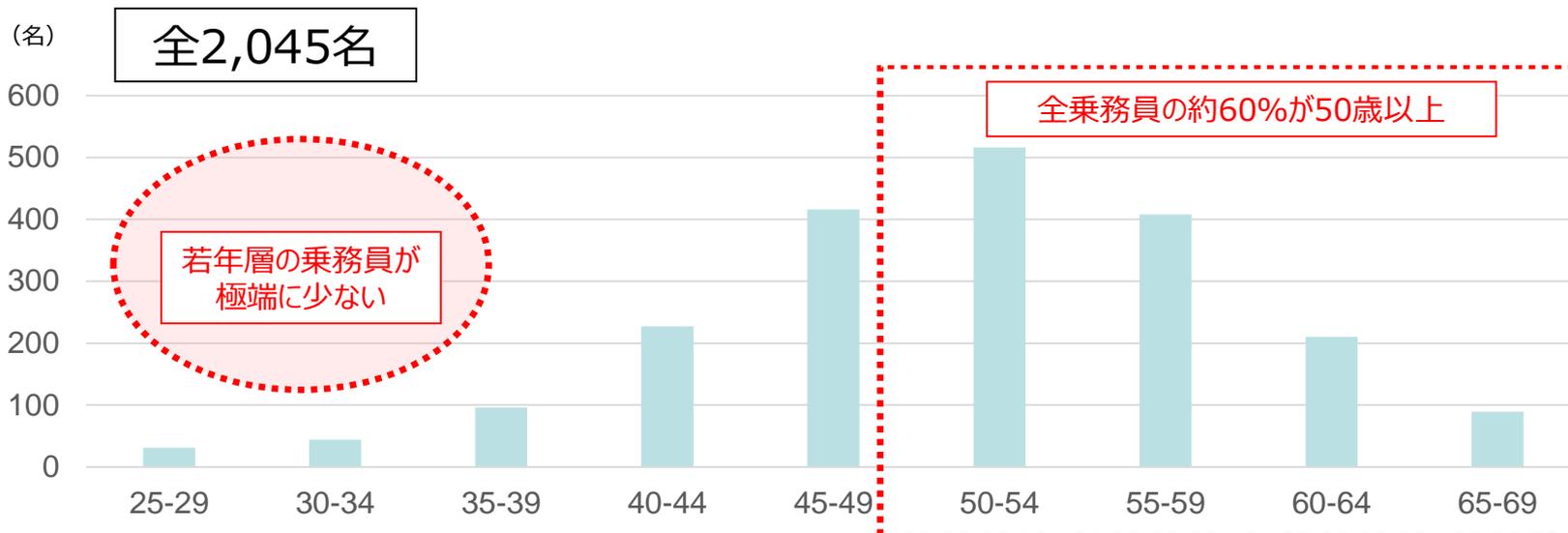
⇒燃料および部品等の価格が上がっており、現行運賃のままでは費用がまかなえない状況となっている。

人財確保のための待遇改善【コスト増の要因②】

まちに、夢を描こう。



【運転士の年齢別在籍人数(西日本鉄道株)】 (2023年4月1日現在)



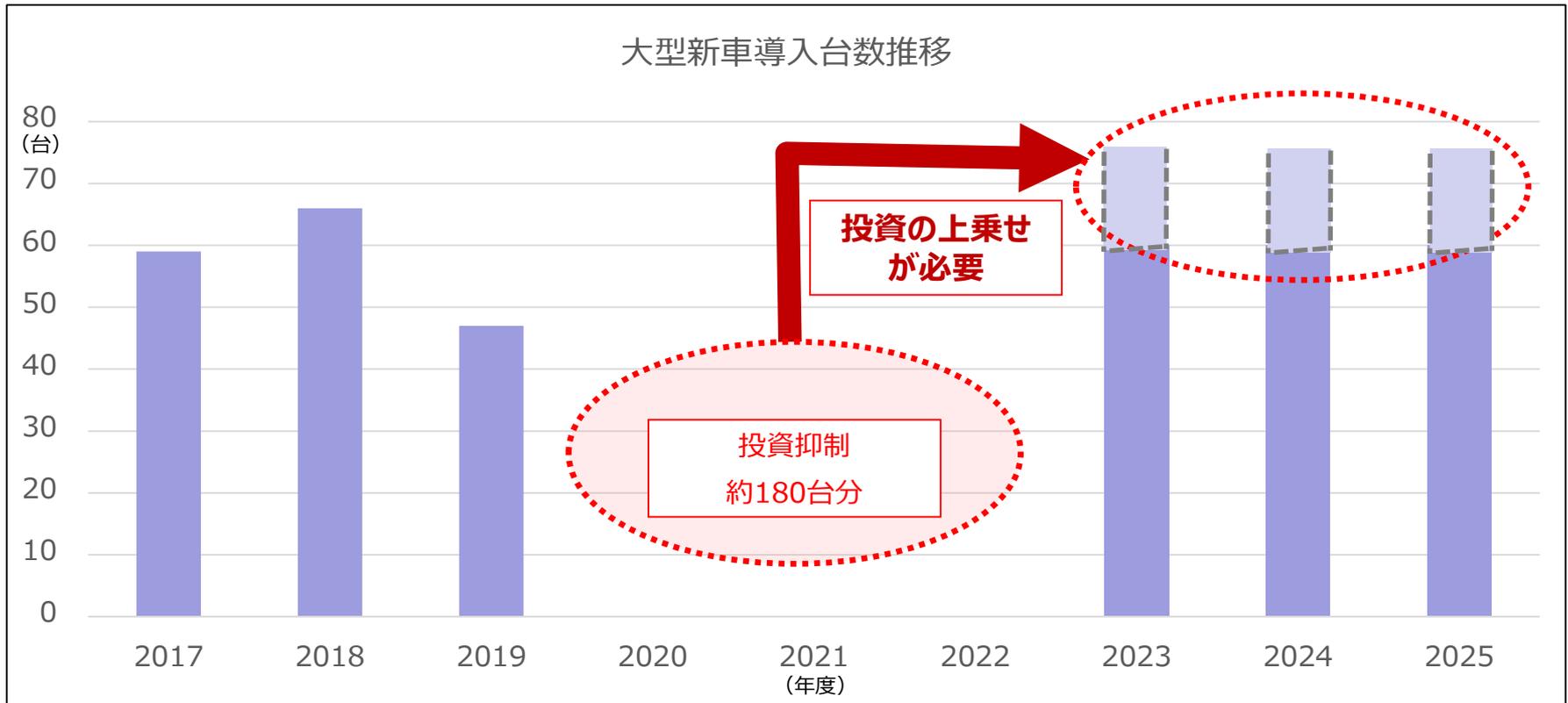
【採用者数と退職者数の推移(西日本鉄道株)】

年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022
採用者数	77	63	71	43	22	20
退職者数 (依願・定年等)	86	92	55	58	79	86
差	▲9	▲29	+16	▲15	▲57	▲66

中途採用者が減少

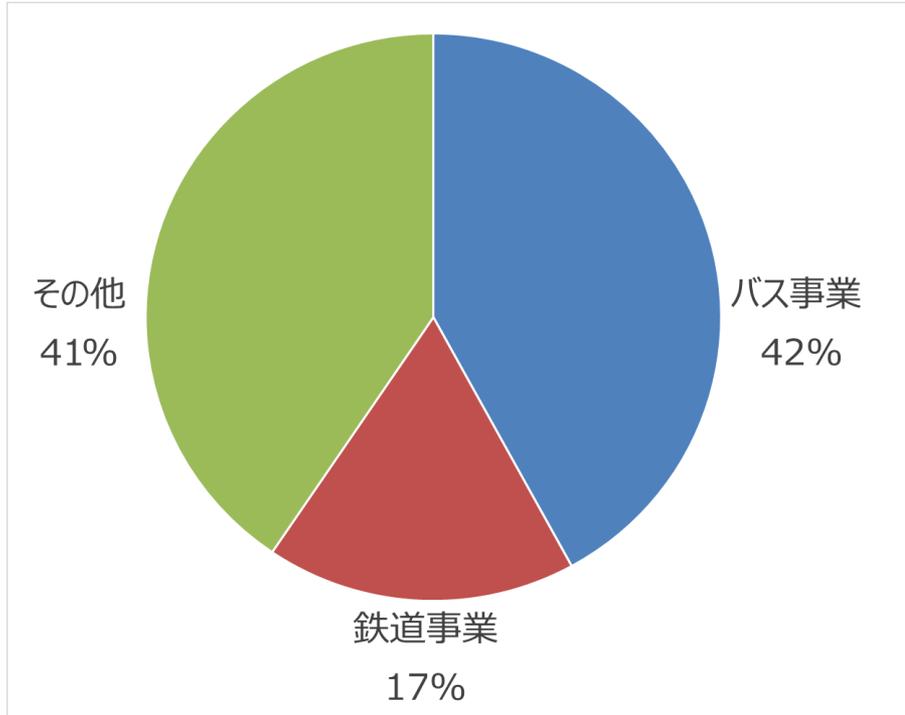
⇒離職防止および優秀な人財を確保するための待遇改善が必要である。

【車両投資(新車導入台数)の推移(西日本鉄道株)】



⇒車両投資の再開に加え、車両装備品の代替や営業所施設の更新、キャッシュレス化の推進のため、今後も投資の増加（上乗せ）が必要である。

【西鉄グループのCO₂排出の状況(2021年度実績)】



【2050年カーボンニュートラルの達成に向けて】

- ✓ 電気バスの導入推進
(20~30台/年ペース)
- ✓ バイオマス燃料・
水素バスの導入検討推進
- ✓ エネルギーマネジメント
の研究推進

**⇒社会から必要とされ、全てのステークホルダーから信頼される企業
であるために、環境負荷低減に貢献するための投資は必須となっている。**

- ✓ コロナ以降の回復傾向が頭打ち
- ✓ 物価上昇によるコスト増(燃料・車両部品など)
- ✓ 慢性的な運転士不足への対応(待遇改善の必要性)
- ✓ 投資の再開(車両等)
- ✓ 環境負荷低減への対応(カーボンニュートラルの達成)

⇒こうした環境下で、将来に渡りバス事業の安全・安定的な継続を図るべく、上限運賃の改定を申請いたしました。

運賃改定の内容

- 申請日 2023年6月15日
- 実施予定日 2024年1月（予定）（約25年ぶり）
※2014年・2019年の消費税率引き上げに伴う改定を除く
- 申請対象路線 当社が運行する一般乗合バス路線
（一部区間を除く）
- 上限運賃の平均改定率 19.88%
※実施運賃の平均改定率は
12%程度の予定
- 申請先 国土交通省

運賃比較表

	現行運賃	上限運賃※1	実施運賃※2 (予定)
対キロ区間制 (初乗運賃)	170円	220円	210円
特殊区間制 (福岡市内1区) ※3	190円	220円	210円
特殊区間制 (福岡市内2区) ※3	240円	280円	260円
150円区間 ※4	150円	220円	150円
特殊区間制 (福岡市内1区) 定期券 (通勤一ヵ月)	8,550円	9,900円	9,450円

※1 上限運賃・・・事業経営に必要な原価に応じて算出され、バス事業者が収受できる運賃の上限額。

※2 実施運賃・・・上限運賃の範囲内で、実際にお客さまから収受する運賃額。

※3 特殊区間制・・・乗車した区間数に応じて運賃額を算出する制定形態。福岡都心部に適用。

※4 150円区間・・・天神～博多駅間の都心エリアと、主要駅（薬院・平尾・高宮・大橋、春日原・下大利・朝倉街道・藤崎）から約1kmのバス停間で設定。当区間の実施運賃は、引き続き割引運賃を適用する予定。

当社の運賃制度

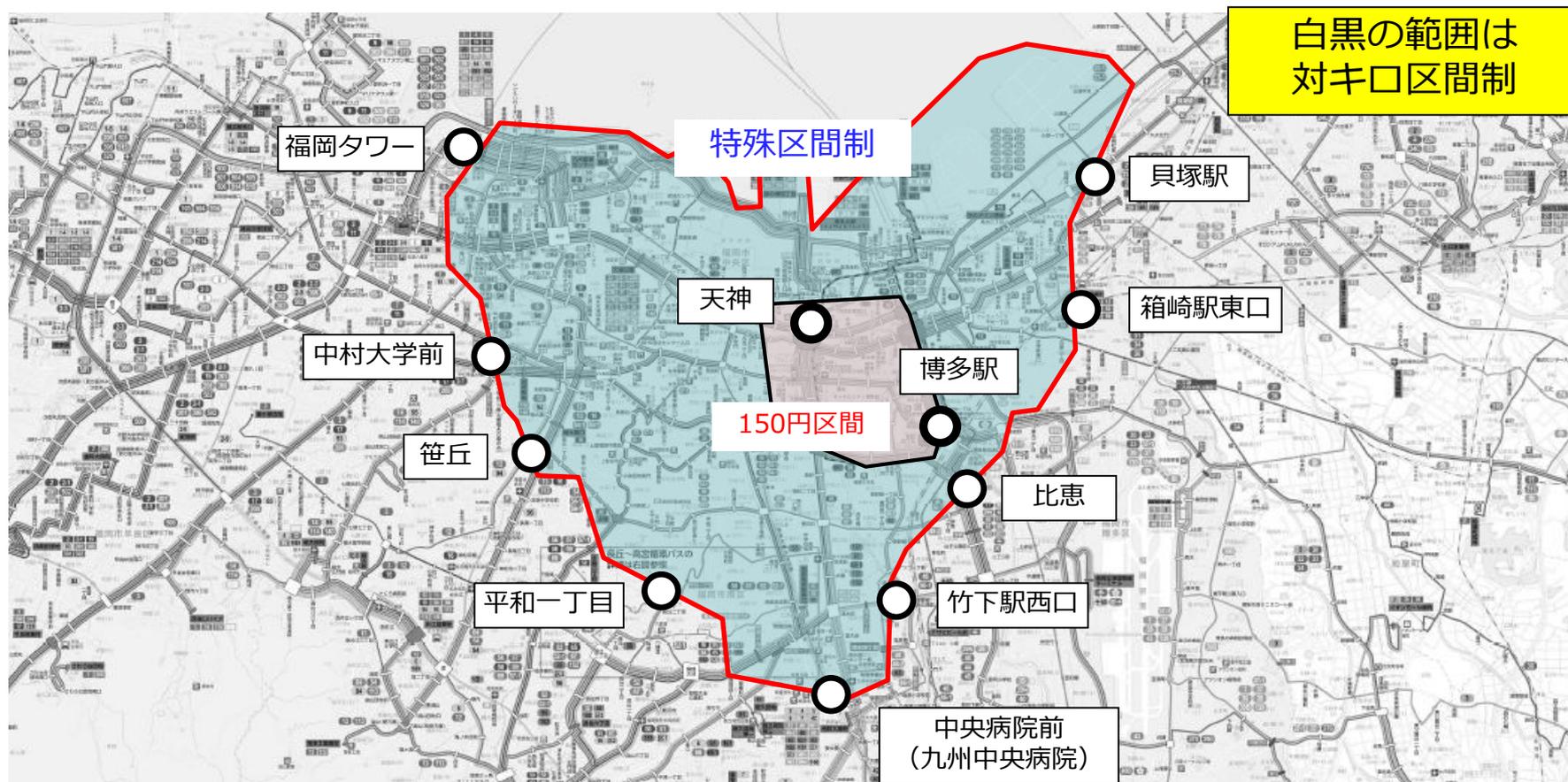
まちに、夢を描こう。



対キロ区間制：乗車したキロ数（距離）に応じて算出（バス運賃制度の基本）

特殊区間制：福岡都心部に適用しており、1区を概ね2キロ以上となるように区間を設定し、その区間数によって運賃を決める制度

①1区 210円（現行：190円）②2区以上 260円（現行：240円）の2パターン



主要区間の運賃

まちに、夢を描こう。



区間		片道運賃		定期旅客運賃※2 (通勤一ヵ月)		
		現行運賃	実施運賃 (予定)	現行運賃	実施運賃 (予定)	
天神	～	博多駅 ※1	150円	150円	8,550円	9,450円
	～	県庁前	190円	210円	8,550円	9,450円
	～	西新	240円	260円	10,800円	11,700円
	～	島廻橋	300円	340円	13,500円	15,300円
	～	香椎	380円	430円	17,100円	19,350円
	～	四箇田団地	470円	530円	21,150円	23,850円
	～	上宇美	530円	590円	23,850円	26,100円
博多駅	～	ららぽーと福岡	220円	240円	9,900円	10,800円
	～	イオンモール福岡	330円	370円	14,850円	16,650円
	～	油山	450円	510円	20,250円	22,950円

※1 天神～博多駅間の片道運賃は割引運賃を適用しており、定期旅客運賃は210円を基準運賃とした金額。

※2 定期旅客運賃については、基準運賃をもとに算出。ただし、割引率の変更は行わない予定。

運賃改定の実施効果

まちに、夢を描こう。



西日本鉄道(株) <高速バス・貸切バス等は除く>

※運賃改定後の2024年度輸送人員、収支状況は申請上限運賃での推計値

		輸送人員	収支状況
2019年度		182百万人	15百万円
2024年度 (見込み)	運賃改定なし	146百万人	△4,838百万円
	運賃改定あり	142百万人	△1,109百万円
		▲約20%	▲約4,853百万円
		▲約3%	+約3,729百万円

《参考》2022年度の輸送人員：151百万人 収支状況：△1,391百万円

安全対策

【ソフト面】

- 発車前安全確認「3秒ルール」の徹底など基本操作の遵守
- ドライブレコーダーを活用した、個人の運転特性に応じた安全指導
- ハザードマップを活用した災害への備え強化
- 西鉄バス研修センターにおける定期的なバス運転士への安全教育
- バスジャック対策訓練
- バス横転時の脱出訓練 など

バスジャック対策訓練→



←バス横転時の脱出訓練



バス運転士への安全教育 →



【ハード面】

- 新型ドライブレコーダーの導入
- ドライバー異常時対応システム（EDSS）搭載車両の拡大 など



←新型ドライブレコーダー

ドライバー異常時対応システム（EDSS）→



サービス・商品

- 1999.7 100円バス運行開始（2021.7～ 150円に改定）
- 2000.8 「乗り継ぎ割引制度」導入
- 2000.9 高齢者向け乗り放題定期券「グランドパス65」販売開始
- 2003.3 学生向け乗り放題定期券「エコルカード」販売開始
- 2004.10 バスロケーションシステム「にしていつバスナビ」導入
- 2004.11 時間帯限定乗り放題定期券「ひるパス」販売開始
- 2008.5 交通系ICカード「nimoca」導入
- 2013.12 「にしていつバスナビアプリ」配信開始
- 2016.6 「福岡市内1日フリー乗車券」販売開始
- 2018.11 マルチモーダルモビリティサービス「my route」推進
- 2019.4 AI活用型オンデマンドバス「のるーと」導入
- 2021.12 「こども50円バス」実施

グランドパス65

おひるの
グランドパス65



車両



ハイブリッドバス (2009.9導入)



連節バス (2016.8導入)



尿素SCRシステム搭載バス
(2005.11導入)



ノンステップバス
(2004.12導入)



レトロフィット電気バス
(2022.6導入)

【経営効率化】

- ✓ 生活様式の変化に対応した運行ダイヤの効率化
- ✓ ICT技術を活用した業務効率化

【安全対策】

- ✓ 日常的な運転士指導・教育
- ✓ 車両更新をはじめとした安全投資・研究の推進



交差点右左折時の一旦停車



車内安全監視 A I システム

【サービス向上】

- ✓ 他社と連携したサービスの向上(MaaSの推進)
- ✓ 持続可能な公共交通ネットワークの構築
- ✓ 高齢者向けのサービス向上施策の検討

【社会的課題への対応】

- ✓ カーボンニュートラルに向けたEVバスの導入推進
- ✓ 運転士不足に対応するための人財戦略の推進



MaaSの推進



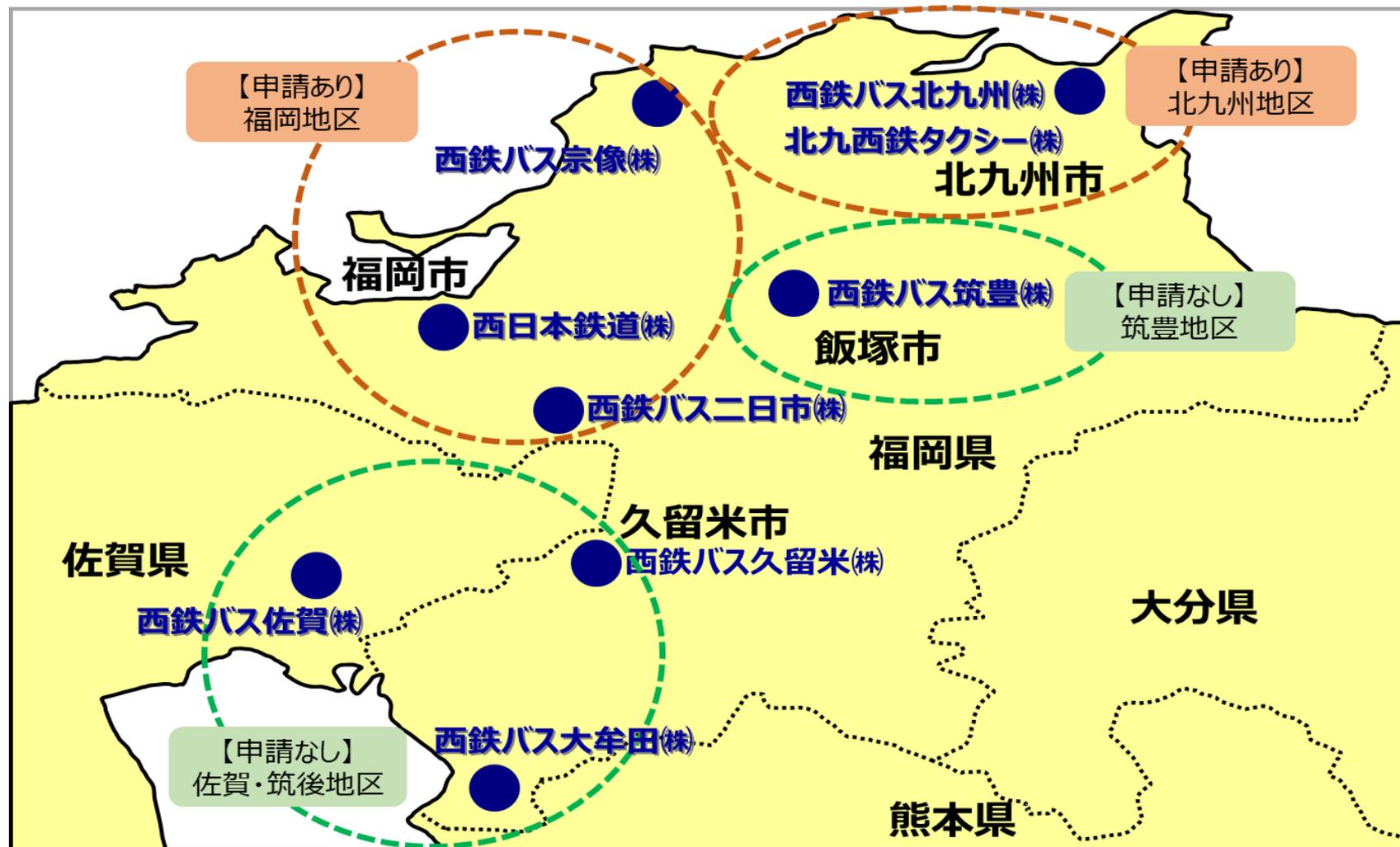
中古バス車両を電動化した「レトロフィット電気バス」

西鉄バスグループは、今後も持続可能な公共交通ネットワークの構築に努めてまいります。



【参考】 運賃改定申請の実施有無

まちに、夢を描こう。



【参考】現在の商品・サービス概要

まちに、夢を描こう。



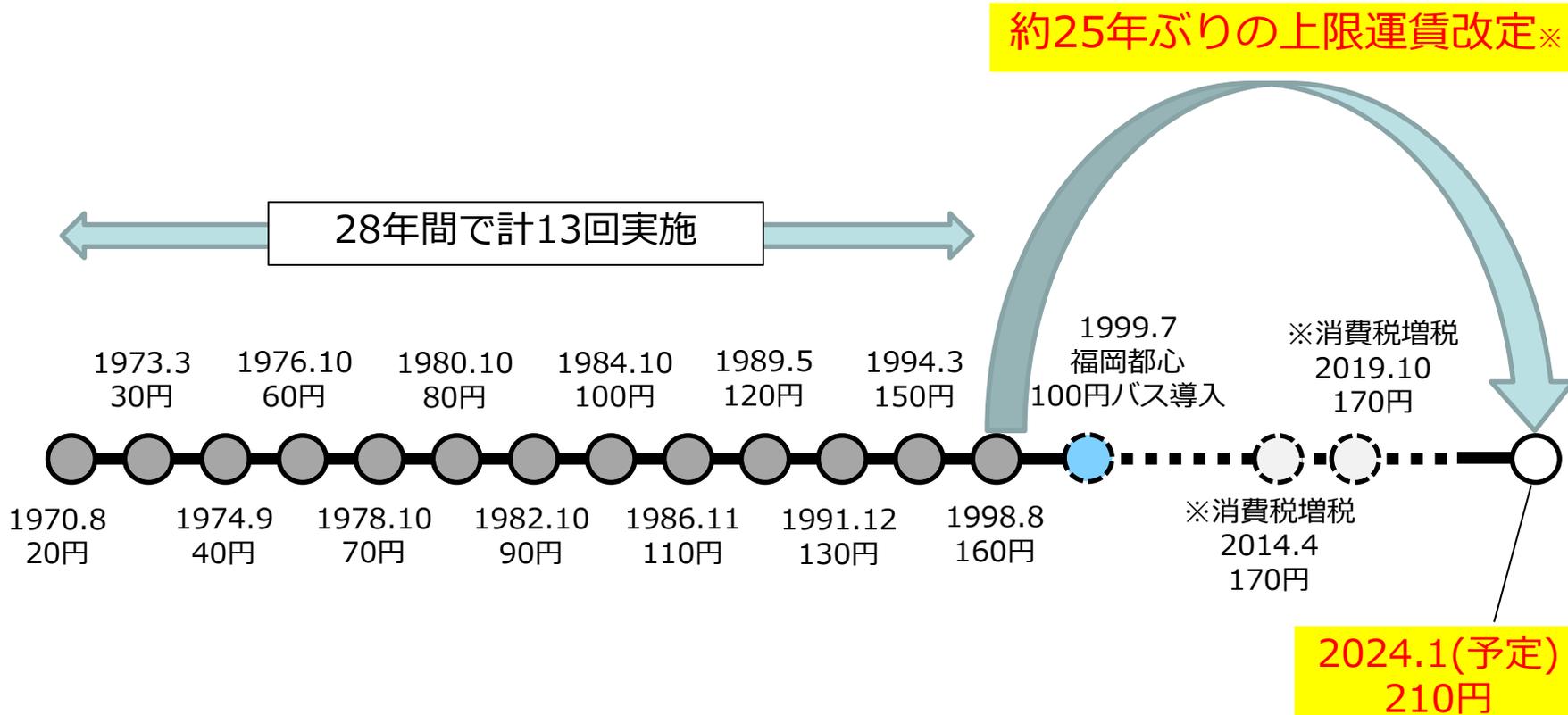
乗り放題定期券	1か月	3か月	6か月	12か月
グランドパス65	6,100	15,000	28,000	51,000
おひるのグランドパス65	5,000	13,000	23,000	42,000
エコルカード	7,200	20,400	37,700	75,400
ワイドエコルカード	10,200	29,500	56,000	112,000
筑豊エコルカード	17,300	48,900	95,800	191,600
ひるパス	6,100	15,300	30,600	61,200
ホリデーアクトパス	–	–	12,200	–
得パス	12,200	33,600	65,200	–

フリー乗車券	1日(紙)	6時間(スマホ)	24時間(スマホ)	48時間(スマホ)
福岡市内	1,000	600	900	–
福岡市内+太宰府	1,600	–	1,500	–
北九州都市圏	1,000	–	800	1,500

その他サービス	適用券種	乗り継ぎ時間	割引金額
バス乗り継ぎ割引	nimocaのみ	降車後90分以内	最大80円

【参考】これまでの運賃改定

上段：実施時期
下段：初乗り運賃



※消費税率引き上げに伴う改定や
100円バス、都市高速系統の値上げを除く